

大阪府議会議長 様

西野田工科高校(全・定)、布施工科高校・城東工科高校、生野工業高校 の募集停止の撤回と府立学校条例の抜本の見直し等を求める請願書

【請願趣旨】

大阪府教育委員会は11月13日、西野田工科高校（全日制・定時制）、布施工科高校、城東工科高校、生野工業高校の4つの府立高校の2025年度からの募集停止を決定しましたが、これは、以下の点からきわめて不当です。

第1に、子どもたちの「学ぶ権利」を保障するために設置されている公立高校の定員には「ゆとり」があって当然であり、「定員に満たない」ことを理由に廃校にするのは道理がありません。2023年度入試では、西野田工科高校に129名の新入生が入学する一方、その機能統合先とされる今宮工科高校の「定員割れ」はわずか7名、布施工科高校に169名の新入生が入学する一方、その統合先とされる城東工科高校の「定員割れ」は30名にとどまっています。単純計算で261名の工業系高校進学を希望する子どもたちが「行き場」を失うことになります。

第2に、製造業の事業所数全国1位など、ものづくりのまち大阪で、産業の担い手を育成している工科高校・工業高校をつぶすことは、大阪の産業をつぶすことにつながります。募集停止の対象となっている4校は、毎年、地元の中小企業や大企業から生徒数を大きく上回る求人票が寄せられるなど、地域からも強く求められています。

第3に、少子化を理由に学校をつぶす前に、少子化をチャンスと捉え、少人数学級の実施や学校の小規模化など、教育条件の改善こそ行うべきです。

私たち大阪の高校を守る会は、決定に先立って、約1万名の署名を府教委に提出し募集停止案の撤回を求めましたが、そうした府民の声を無視しての決定は許せません。

以上のことから下記について請願します。

【請願事項】

1. 大阪府立西野田工科高校(全・定)、布施工科高校・城東工科高校、生野工業高校の募集停止決定を撤回すること。
2. 大阪の産業を支える人材を育成している工業系高校の統廃合を行わないこと。
3. 「3年連続して定員に満たない高校は再編整備の対象」としている大阪府立学校条例を抜本的に見直し、少子化をチャンスと捉え、少人数学級の実現や学校規模の縮小など、すべての府立高校の教育条件を改善すること。

【請願者】

年 月 日

住所	
団体名	
代表者	

連絡先：大阪の高校を守る会（〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町7-11-707 ☎(06)6768-2106）